

岐阜県気候変動適応センターが共同研究成果 記者説明会を開催

【概要】

岐阜県と岐阜大学が共同で設置・運営している「岐阜県気候変動適応センター」は令和2年度に実施した4題の共同研究成果について、令和3年10月8日（金）に県政記者クラブで記者説明を行いました。

共同研究成果

- (1) 温暖化に伴うカキの影響評価と転換品目を含めた栽培適地マップの作成
- (2) 森林・中山間農業における雪害・風害リスクの将来予測
- (3) 洪水・土砂災害の曝露人口年齢分布の経年変化と地域の防災戦略に関する研究
- (4) 将来気候における岐阜県の台風や豪雨の温暖化影響評価

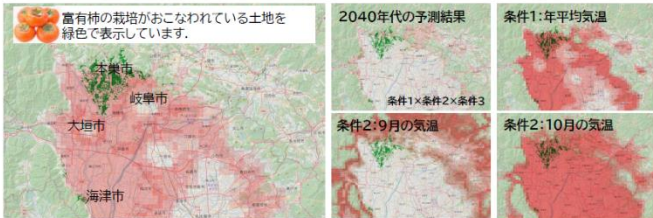
共同研究成果は、岐阜県ホームページにて公表されたほか、記者説明の様相を収めた動画を、岐阜大学地域環境変動適応研究センターyoutubeチャンネルにてご覧いただけます。

岐阜県気候変動適応センター共同研究 成果の概要

〔2020年度共同研究〕

温暖化が富有柿の品質に与える影響と、柿にかわりうる転換品目について検討

- 現在、柿の栽培が盛んな地域は、柿の栽培に適した気候条件と土壌の条件がそろっていたことが確かめられました。
- 温暖化の進行によって、とくに9月の高温が柿の品質を低下させる要因になることが予想されました。具体的には、柿の色づきが悪くなる着色不良が増える可能性が高いことが分かりました。
- 柿にかわる品目として、レモンやグレープフルーツは温暖化の程度が高位であれば将来的に栽培適地となり得ることが分かりました。（現時点では、気温のみを対象とした評価）



富有柿の栽培適地マップ
過去の気象条件で、柿の栽培に適した土地を赤く表示。

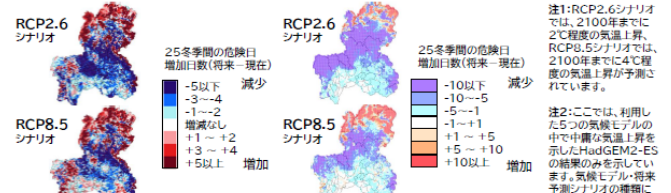
担当者：山田利夫・原田守啓(岐阜大学)／岐阜県

岐阜県気候変動適応センター共同研究 成果の概要

〔2020年度共同研究〕

森林・中山間農業における雪害危険度の将来変化を予測

- 森林冠雪害については、いずれの将来予測シナリオ(RCP2.6、RCP8.5^{注1})でも、県北部で危険日数が増加し、県中南部の多くの地域で冠雪危険日数が減少する傾向にありました。
- 農地雪害(ビニールハウスの倒壊)については、日積雪量が農業用ハウスの限界荷重を上回る危険日数を判定しました。いずれの将来予測シナリオでも、県北部で農地雪害の危険性が増加し、県中南部域では農地雪害危険日数が減少する傾向にありました。
- 将来的に雪害危険度が高い地域においては、森林の適切な密度管理、農地のハウス強化などの事前対策が望めます。



森林冠雪害危険度の危険日増加日数
気候モデル(HadGEM2-ES)による結果^{注2}

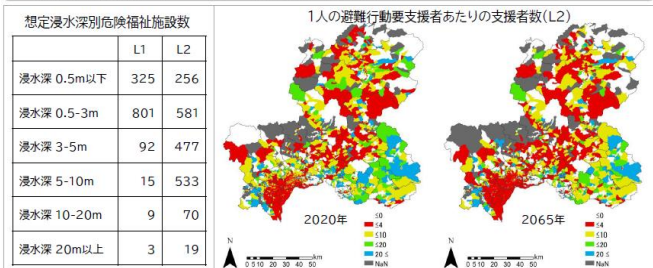
担当者：斎藤球(岐阜大学)／久田義純(岐阜県森林研究所)・矢嶋雄二(岐阜県中山間農業研究所)

岐阜県気候変動適応センター共同研究 成果の概要

〔2020年度共同研究〕

洪水・土砂災害で被災する危険性の高い場所に住民の避難可能性と地域の防災戦略

- 浸水・土砂災害の危険区域内にどの程度の福祉施設が存在するのかを明らかにし、市町村別に集計しました。あわせて、市町村ごとに、どの施設が危険区域内にあるかを示しました。
- 国勢調査の基本単位区(おおむね自治会の拡がり)に相当レベルでの、浸水・土砂災害の危険地域に住む人の数を2020年と2065年の2時点で見積りました。
- 年齢区分だけでなく、要介護認定者、障害者などの数を考慮することで、危険区域に居住する、避難行動要支援者数と、それに対して避難行動を支援出来る人がどの程度いるのかを示しました。



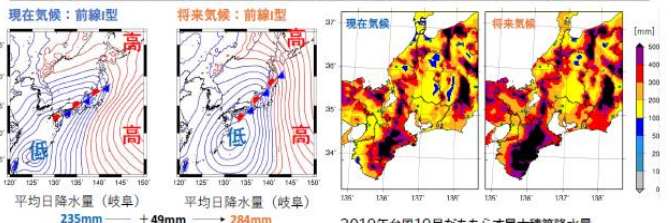
担当者：小山真紀(岐阜大学)／岐阜県危機管理防災課

岐阜県気候変動適応センター共同研究 成果の概要

〔2020年度共同研究〕

温暖化により岐阜県の豪雨や台風がどう変化するか？

- 岐阜県の100年に1回規模の大雨とそのときの天気図が、温暖化の進行によりどう変化するかを分析しました。岐阜県に前線がかり、かつ、南西側に低気圧(台風)が存在するような気圧配置時に岐阜県の大雨が特に強まりやすいことが明らかとなりました。
- 関東地方に甚大な被害をもたらした2019年台風19号が、もしこの地域に最悪の進路で接近した場合にどのような大雨になるのか分析しました。その大雨の規模は、伊勢湾台風を上回り、さらに温暖化の影響を考慮することで、木曾三川の水害リスクは一層増すことが明らかとなりました。



2019年台風19号がもたらす最大積算降水量
将来気候では、木曾三川の上流域で+50～150mmの積算降水量の増加し、水害リスクが増大します。

担当者：吉野純(岐阜大学)／岐阜県危機管理防災課

【メディア掲載】

掲載日	新聞社名	内容
2021/10/9	岐阜	20年後「富有柿」 着色不良の危機 県と岐阜大、予兆確認 温暖化影響，農家"真っ青..." ～ 応用生物科学部 山田邦夫 教授，流域圏科学研究センター 原田森啓 准教授 ～
2021/10/17	中日	温暖化 富有柿の色に影響？ 県気候変動適応センターまとめ ～ 応用生物科学部 山田邦夫 教授 ～

放送日等	番組名	内容
2021/11/16	中京テレビ 15:48～18:59 「キャッチ！」	岐阜県と岐阜大学が共同で設置・運営している岐阜県気候変動適応センターの共同研究成果「温暖化に伴うカキの影響評価と転換品目を含めた栽培適地マップの作成」の紹介